

# 「国家戦略特区」事例集

- **1次指定** <平成26年3月28日決定>
- **2次指定** <平成27年3月19日決定>  
【地方創生特区】
- **3次指定** <平成27年12月15日決定>  
【地方創生特区 第2弾】

## 関西圏

(大阪府、兵庫県、京都府)  
医療等イノベーション拠点、  
チャレンジ人材支援

## 養父市

中山間地農業の改革拠点

## 広島県・今治市

国際交流・ビッグデータ活用 特区

## 沖縄県

国際観光拠点

## 新潟市

大規模農業の改革拠点

## 愛知県

「産業の担い手育成」のための教育・雇用・農業等の総合改革拠点

## 仙北市

「農林・医療の交流」のための改革拠点

## 仙台市

「女性活躍・社会起業」のための改革拠点

## 東京圏

(東京都、神奈川県、千葉市及び成田市)  
国際ビジネス、イノベーションの拠点、  
「近未来技術実証・多文化都市」の構築

## 福岡市・北九州市

創業のための雇用改革拠点、  
高齢者の活躍や介護サービスの充実による  
人口減少・高齢化社会への対応



平成 28年 12月 14日  
内閣府 地方創生推進事務局

## 大田区全般の動き

平成27年10月20日 特区諮問会議で、区域計画認定

12月7日 大田区の条例の制定

平成28年2月12日 初の施設の認定（事業開始）

（12月5日時点）

- ・ 認定 26施設 80室（申請 28施設 83室）
- ・ 21事業者（うち個人6）
- ・ 滞在実績：376人（うち外国人 207人）



## 近隣ホテルと連携・協力した「新築マンション」の例

### 概要

新築（築1年）  
JR蒲田駅から徒歩2分  
宿泊料：1泊1組9,980円（主にビジネス客用）

### 特徴

#### 旅館組合と密接に連携・協力

組合所属の近隣ホテルと業務提携を行い、  
鍵の受渡しや本人確認を対面で実施。  
（実質的にフロントを共有）



## 地域に根付いた長期的・安定的な経営と、農地所有者の意向に応じるため**農地を取得**

### (株)Amnak

- 酒米の生産
- 地域の酒蔵と連携し日本酒を生産  
(日本酒のブランド化)
- 自社醸造した日本酒の輸出を目指す

11月18日農地取得



### 兵庫ナカバヤシ(株)

- にんにくの生産と6次産業化
- 地域内連携によるにんにくの産地化  
(企業・農家との連携)



#### <当面の事業計画>

- ◆生産から収穫、精米までを一元管理するため、**ライスセンターを整備**。
- ◆農地の取得は、**当面、1haを目標として、更なる拡大**を検討

#### <当面の事業計画>

- ◆保存・乾燥施設等の整備や土壌改良を通じて、独自の土づくりなどの栽培技術の実証など取り組む。
- ◆農業分野へ進出することによって、製本業務との平準化を目指し、「雇用の安定化」に取り組む。
- ◆農地の取得について、**更なる拡大**を検討。

## 企業による農地取得の特例

(改正国家戦略特別区域法 平成28年5月27日成立、9月1日施行)

これまでの出資・事業要件等を満たさなくとも、一定の要件の下、**企業が農地を所有し営農することが可能に**

平成28年11月9日 計画認定

(株)Amnak (養父市)

兵庫ナカバヤシ(株) (養父市)

(株)やぶの花 (養父市)

## シニア・ハローワーク (8月29日スタート)

求人情報で年齢制限を設ける場合は、高齢者の就労支援の観点から、60歳以上しか認められていない



50歳以上の就職支援を重点的に行う職業相談窓口(シニアハローワーク)の設置を可能に



～全国初～

- 50歳代からの中高齢者の就業相談窓口を開設
- 専用端末を設置し、概ね50歳以上の求職者に特化した就職支援



生涯活躍のまちづくりに向けて、

50歳以上の求職者を重点的に支援



## 介護ロボット実証

ユニット型指定介護老人福祉施設における「共同生活室」は、小グループごとに設置。



介護職員の補助等を行うロボットの実証を行う場合、2ユニットの「共同生活室」を一体的に利用可能とする。

※(11月26日視察時、施設長談) 特例の効果により「ロボットの導入を容易」にしたことで、介護職員間で、「このロボットはこのように使えるのではないか」との活発なコミュニケーション、意識改革が生まれた。



～ 全国初 ～

28年7月より 介護ロボット実証プロジェクト実施

- 介護ロボットの導入前に、現行の介護の作業分析を実施 (大学と行政で共同実施した介護分野の作業分析は国内初)
- これまで、感覚的に言われていた時間のかかる作業や負担が「見える化」



「ロボット導入前後の作用量の定量比較」が可能！  
人員や施設の基準の見直しを提案

11月26日  
実証施設を  
視察、意見  
交換





## 雇用労働相談センター

新規開業直後の企業及びグローバル企業等が、紛争を生じることなく事業展開することが容易となるよう、

**「雇用労働相談センター」を設置**

(平成26年9月30日認定)

スタートアップカフェに併設し、相談件数**日本一！！**  
(平成28年9月末相談件数 1,775件/ **1日平均3件以上**)



平成28年8月28日 視察の様子

## スタートアップビザ

外国人の創業活動を支援するため、在留資格の要件に特例を認める

**「スタートアップビザ」の受付を開始**

(平成27年10月20日認定)



平成27年12月9日に受付開始  
平成28年9月末 13名を認定  
(受付開始日にフランス人が申請)

平成28年10月1日、愛知県道路公社が管理する有料道路8路線について、愛知道路コンセッション株式会社が運営事業を開始。

## ポイント

### ▶ 有料道路コンセッションの事業開始に併せて、 通行料金の改定・割引を実施

- ① 中部国際空港連絡道路の料金引き下げ（半額化）  
普通車：片道の場合 〔現行〕360円 → 〔改定〕180円
- ② 知多半島道路の料金割引（3割引）  
全車種（ETC無線走行対象）  
平日通勤時間帯（6～9時、17～20時）  
普通車：大高IC～半田IC 片道の場合  
〔現行〕460円 → 〔割引後〕330円

### 1 民間事業者による料金の收受

料金を民間事業者の収入として收受させる特例を措置

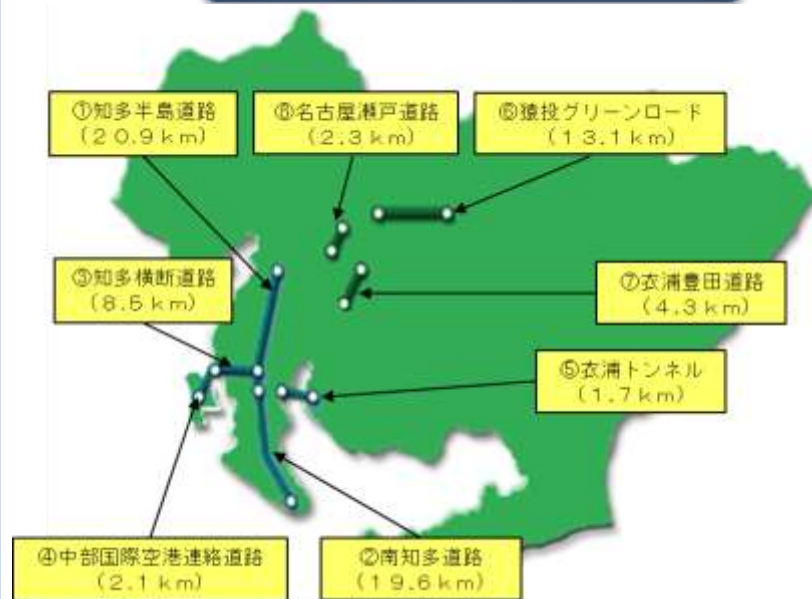
### 2 民間事業者による料金の決定

料金は、公社が許可等を受けた料金を上限として、民間事業者が弾力的に決定する。

### 3 安全や利用者利便の確保

民間事業者による適正な事業の実施（安全や利用者利便）については、公社がPFI法に基づく契約や監督手続により確保する。

## 事業開始



### ○契約の相手方

愛知道路コンセッション株式会社

### ○契約期間

平成28年8月31日～平成58年3月31日





## 地域の移動手段

### 秋田県仙北市

田沢湖畔において、全国初となる公道での  
無人バス走行実験を実施

- 日時：平成28年11月13日（日）午前中
- 場所：仙北市田沢湖田沢字春山地区



県道38号線一部  
(仙北市田沢湖田沢字春山地区)

### 事業概要

実施主体	内閣府、仙北市
自動走行 車両の名称	「ロボットシャトル」 (10名程度乗車可能な自動運転車両) 株式会社ディー・エヌ・エー (東京都渋谷区)

### ■ 一般モニター62名が試乗

試乗者の感想...

揺れも感じず、乗り心地が良かった、実用化を期待したい など

### ■ 公道400mを自動走行

